

Japanese Utility Model Laid-Open Publication No. 51-60934

Laid-Open Date: May 13, 1976

Japanese Utility Model Application No. 49-134871

Filing Date : November 6, 1974

Inventor : Kazuo TOBA

Applicant: Fukuoka Seishi Kabushiki Kaisha

PAPER BOX FOR PACKING

In a paper box for packing of the present invention, a cutting hole (1) is formed on a top surface (a) of a paper box main body (A), and perforations (2) are formed in two parallel lines to extend from the cutting hole (1) towards left and right edge portions. Additionally, perforations (2') are formed obliquely from the left and right side edges of the perforations (2) to front end edge portions of left and right side surfaces (b), (b') of the box main body (A).

THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑤ Int. Cl.²
B 65 D 5/54

⑥ 日本分類
132 C 51

⑨ 日本国特許庁
公開実用新案公報

⑩ 実開昭51-60934

庁内整理番号 6688-38

⑬ 公開 昭51(1976). 5.13

審査請求 有

⑭ 包装用紙函

- ⑮ 実 願 昭49-134871
⑯ 出 願 昭49(1974)11月6日
⑰ 考 案 者 鳥羽和夫
福岡市博多区美野島4の1の27
福岡製紙株式会社内
⑱ 出 願 人 福岡製紙株式会社
福岡市博多区美野島4の1の27
⑲ 代 理 人 弁理士 早川潔 外1名

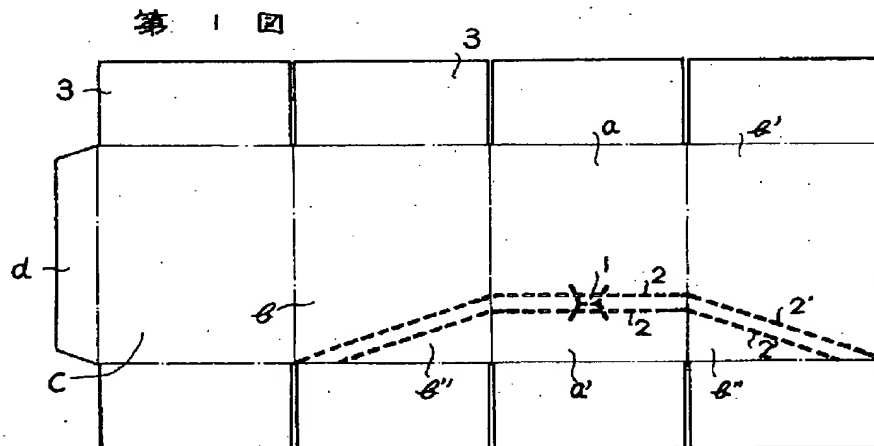
⑳ 実用新案登録請求の範囲

紙函本体の上側面に切込孔を切り込むと共にその切込孔より左右側縁に向つて、平行二列にミシン孔を穿設し、該ミシン孔の左右両端縁より紙函本体の左右側面の前端縁に向つて、斜方向にミシン孔を連続穿設した包装用紙函。

図面の簡単な説明

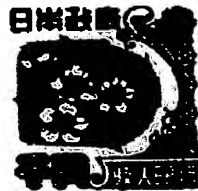
第1図は本案包装用紙函の展開図、第2図は組立た状態を示す紙函の斜視図、第3図は開封した状態を示す紙函の斜視図である。

図中、A……紙函本体、B……複写終等の紙類、1……切込孔、2, 2'……ミシン孔。



THIS PAGE BLANK (USPTO)

THIS PAGE BLANK (USPTO)



(1,500円)

実用新案登録願 (A)

昭和49年11月6日

特許庁長官 斎藤英雄 殿

1. 考案の名称

包装用紙函

2. 考案者

住所 福岡県福岡市博多区美野島4-1-27
氏名 福岡製紙株式会社内
鳥羽和夫

3. 実用新案登録出願人

住所 福岡県福岡市博多区美野島4-1-27
名称 福岡製紙株式会社
代表者 松野鳥 繁 雄

4. 代理人

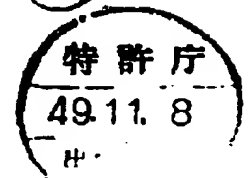
住所 東京都文京区白山5丁目14番7号
早川ビル 電話東京(04)0531番(代表)

氏名 (1629) 弁理士 早川 潔
(外1名)

5. 添付書類の目録

- | | |
|-------------|----|
| (1) 委任状 | 1通 |
| (2) 明細書 | 1通 |
| (3) 図面 | 1通 |
| (4) 願書副本 | 1通 |
| (5) 出願審査請求書 | 1通 |

方 式 査 査
小川



49 134871

34

6. 前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

(1) 考案者

(2) 実用新案登録出願人

(3) 代理人

住 所 東京都文京区白山5丁目14番7号
早川ビル 電話東京(03)0531番(代表)

氏 名 (6860) 弁護士 早 川 政 名

明 細 書 (A)

1. 考案の名称

包 装 用 紙 函

2. 実用新案登録請求の範囲

紙函本体の上側面に切込孔を切り込むと共にその切込孔より左右側縁に向って、平行二列にミシン孔を穿設し、該ミシン孔の左右両端縁より紙函本体の左右側面の前端縁に向って、斜方向にミシン孔を連続穿設した包装用紙函。

3. 考案の詳細な説明

従来、複写紙等の紙類を収納する包装函体はこの複写紙等の紙類を目一杯に函体内に詰め込み収納し封印していたので、函体の蓋板を開いた際、中味の複写紙等の紙類を取り出すには極めて困難であった。又函体を開口した後は仲々完全に蓋板を被蓋閉口し難く、時には開口状態となり、函体内にゴミ等が浸入するおそれもあり、且中味の紙類の取り出しにも不便であった。そこで本考案は包装函体内に複写紙等の紙類を密接収納し、取り

出すときは簡単に開口して所望数の複写紙等の紙類を取り出し得るようにすると共に取り出した後は簡単に閉口して、ゴミ、ホコリ等の侵入を防ぎ得るようにしたことを特徴とする包装用函体を提供するにあり、以下実施の一例について説明する。

紙函本体(A)は段ボール板紙又はボール紙等にて、図面第1図に示す如く、函体状に組立て得るように形成し、その上側面(a)の前縁より適宜間隔をおき、その中央に指等を差し込み上側面(a)を開口し得るような切込孔(1)を切り込み、更にその切込孔(1)より左右側縁に向って、平行二列にミシン孔(2)(2')を穿設する。左右側面(b)(b')には前記左右側縁に穿設したミシン孔(2)(2')より左右側面(b)(b')の前縁に致るまで、傾め方向にミシン孔(2)(2')を連続穿設する。そして図面に示す如く各面の各端縁より折り込み、耳面(c)を底面(c)にホッチキス等で止着するか又は接着剤で接着し、裏蓋(3)を折り込み重積して紙函体(A)を成形し、その紙函体(A)内に複写紙等の紙類(3)を密接しながら、空隙のないように強圧して強引に収納する。そして、表蓋(4)を重ね合せ

密封し、複写紙等の紙類(B)を収納する。

本考案は以上のように紙函本体(A)の上側面(a)に切込孔(1)を切り込むと共にその切込孔(1)より左右側縁に向って、平行二列にミシン孔(2)(2')を穿設し、該ミシン孔(2)(2')の左右両端縁より紙函本体(A)の左右側面(b)(b')の前端縁に向って、斜方向にミシン孔(2)(2')を連続穿設したから、紙函体(A)内に収納せる複写紙等の紙類(B)を取り出すときは、先づ切込孔(1)に指を押し込み破り開口し、その切込孔(1)を摘み、ミシン孔(2)(2')に沿って引動すれば、紙函体(A)は上側面(a)より左右側面(b)(b')に渉って引き裂かれ分割され、開口される。そして、この上側面(a)の開口部に手を掛け、手前に引くと、分割された上側面(a)、左右側面(b)(b')は三角棒体状となって、開口される。従って、複写紙等の紙類(B)は紙函体(A)から一部露出するをもって、この紙散を変曲させながら所望紙散の紙類を楽に取り出すことができる。そして、取り出した後は三角棒体状に形成された蓋棒(A')は紙函体(A)に連設されているをもって、これを起立被蓋すれば、紙函体(A)を閉口し得る。

本考案は以上のように構成したるをもって、紙面体内に密接收納せる複写紙等の紙類を簡単に取り出すことができると共に取り出した後も、楽に紙面体を被蓋し、ゴミ、ホコリ等の防止を計り得る。又この儘の状態でこれら紙面体を順次積み重ねて収納でき崩壊することなく極めて便利である。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本案包装用紙面の展開図、第2図は組立た状態を示す紙面の斜視図、第3図は開封した状態を示す紙面の斜視図である。

図中、

(A).....紙面本体

(B).....複写紙等の紙類

(1).....切込孔

(2)(2)'.....ミシン孔

実用新案登録出願人

福岡製紙株式会社

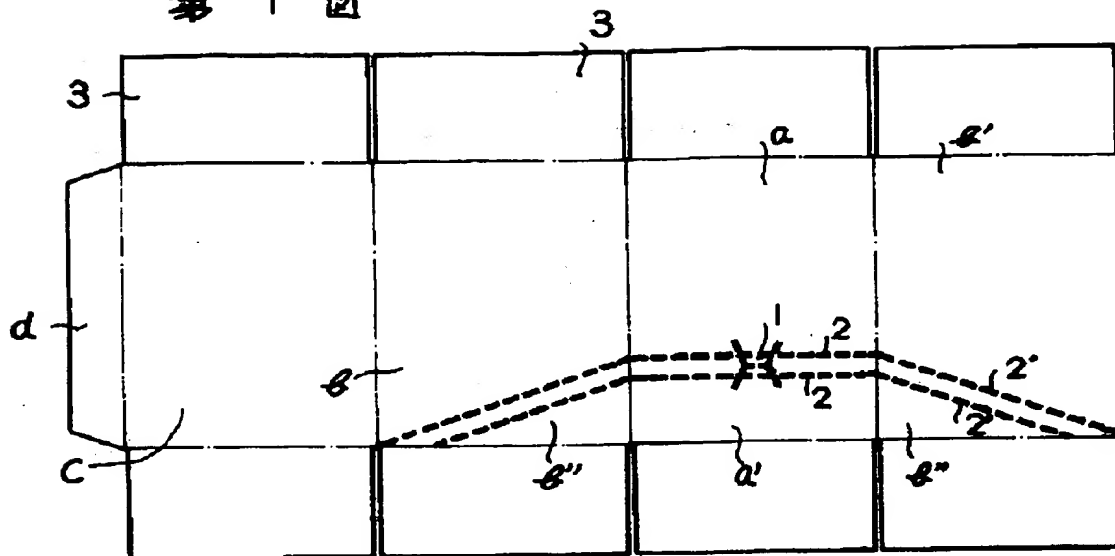
代理人

早川 源

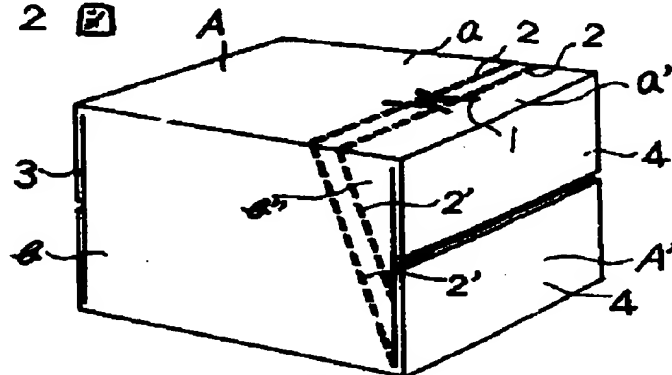
代理人

早川 政 名

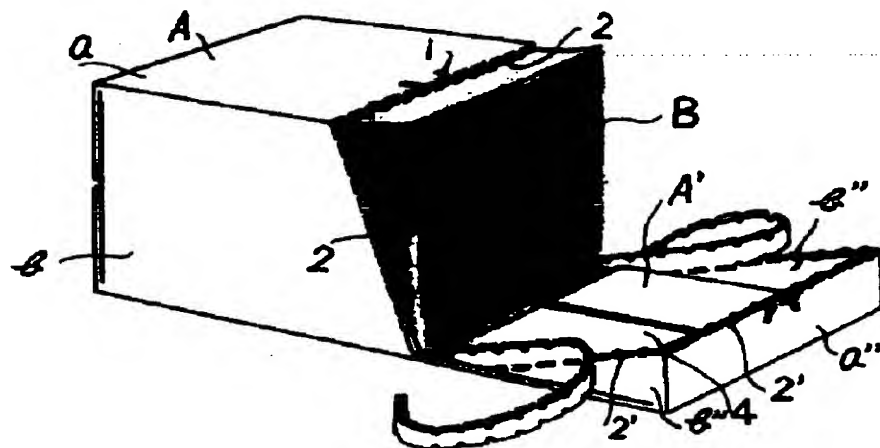
第 一 章



第 2 回



第 3 圖



出願人 福岡製紙株式会社

代理人 早 川 澤
外一名

外一名

60934

THIS PAGE BLANK (USPTO)